

国立大学法人神戸大学・国立大学法人兵庫教育大学入札監視委員会議事概要

1. 日 時 平成29年2月28日(火) 14:00～16:10
2. 場 所 国立大学法人兵庫教育大学ハーバーランドキャンパス内兵教ホール
3. 委 員 委員長 山崎 聡一(神戸市立工業高等専門学校長)  
           委 員 高谷 晋介(公認会計士)  
           委 員 森澤 武雄(弁護士)
4. 審議対象期間 平成28年1月1日～平成28年12月31日
5. 抽出審議事業 下記の表のとおり

抽出事業件数(合計)		13件	
建設工事	一般競争	総合評価落札方式(標準型)	
		総合評価落札方式(簡易型)	
		総合評価落札方式(実績評価型)	神戸大学 6件 兵庫教育大学 2件
		最低価格落札方式	
	工事希望型競争入札		
	随意契約	神戸大学 2件	
	小 計	10件	
設計・コンサルティング業務	プロポーザル方式	公募型プロポーザル	
		簡易公募型プロポーザル	
		簡易公募型プロポーザル(拡大)	神戸大学 2件
		標準型プロポーザル	
	一般競争	最低価格落札方式	神戸大学 1件
	随意契約		
	小 計	3件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	契約件数について経年比較出来る資料の提出について意見があった。 低入札価格調査について、具体的な調査内容資料の提出について意見があった。		
備 考	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立てはなし。		

別紙

事項	意見・質問	回答
<p>審議事項</p> <p>1. 入札・契約手続きの運用状況等について</p> <p>総合評価落札方式における簡易型（拡大）の廃止について報告があった。</p> <p>2. 運営内規第6条第2項に基づく抽出事業にかかる審議について</p> <p>(1) 建設工事の抽出事業にかかる審議について</p> <p>以下、神戸大学の審議事業</p> <p>①（六甲台2）本部管理棟2階保健管理センター廊下空調機取設等改修機械設備工事</p> <p>②（六甲台2）文学部本館（A棟）等屋上防水改修工事</p>	<p>・ 契約件数が減った様に思われる、予算が付かなかったということか。今後、契約件数の経年比較出来る資料をまとめておいてはどうか。</p> <p>・ 落札率が99%超であるが予定価格の積算は妥当か。</p> <p>・ 実績評価型における評価点の満点は何点か。</p> <p>・ ライフサイエンスラボラトリーのオートセンサーの工事は専門業者が施工する必要があるか。</p> <p>・ 調査基準価格を下回る業者が複数いる場合において低入札価格調査は1位の業者だけ実施するのか。</p> <p>・ 落札者の入札金額は調査基準価格の8割程度となっているが理由は何か。</p>	<p>・ 予算については年度により増減があるが、近年は厳しい傾向であり、年々契約件数は減少傾向にある。来年以降の定例会議は、契約件数について経年比較出来る資料を提出する。</p> <p>・ 2回目の入札で予定価格の範囲内となったため落札率が99%超となった。予定価格は積算基準に基づいて適切に積算している。（神戸大学）</p> <p>平成27年度末までは110点、平成28年度からは120点である。（神戸大学）</p> <p>・ メーカーから機器を仕入れて設置する工事のため専門業者でなくても問題ない。（神戸大学）</p> <p>・ 1位の業者から順番に実施することになる。ただし1位の業者が履行可能と判断した場合は、次順位の低入札業者へは低入札価格調査は実施していない。（神戸大学）</p> <p>・ 落札者は防水工事の専門業者であるため、下請けに発注する必要がなく、諸経費も抑制された。（神戸大学）</p>

事項	意見・質問	回答
<p>③（六甲台2）基幹・環境整備（急傾斜地安全対策）Ⅲ期工事</p> <p>④神戸大学（楠）外来診療棟4～6階東西便所改修工事</p> <p>以下、兵庫教育大学の審議事業</p> <p>⑤（嬉野台）共通講義棟空調設備改修工事</p>	<p>・落札率が66%と低廉であるが予定価格の積算は妥当であるか。</p> <p>・低入札調査の結果、適正な履行がなされると判断するのは誰か。</p> <p>・評価値はどのように算出されるのか。</p> <p>・落札者の入札金額が低廉であったのはなぜか。</p> <p>・落札者とそれ以外の入札業者は同じ資格等級か。</p> <p>・総合評価落札方式実績評価型の評価値における加算点について、「10点～30点の範囲で各大学において設定する」とあるが、兵庫教育大学では10点を採用している理由は何か。</p> <p>・予定価格積算方法について、全国一律のものがあるのか各大学にて設定しているのか。</p>	<p>・見積書を取った場合の査定率は、近畿地区国立大学建築・土木ワーキンググループにて決められている。またこれまでの実績を勘案して適正に是正することが認められているが実情とまだ差がでている。多くのデータを集積して適正な予定価格の設定ができるよう努めている。（神戸大学）</p> <p>・契約担当役である。（神戸大学）</p> <p>・評価点を入札金額で割って、1億掛けると評価値を算出できる。（神戸大学）</p> <p>・落札者は、Ⅱ期工事を施工していたため、本工事について熟知していることから低廉になったと思われる。（神戸大学）</p> <p>・同じである。なお、今回は1級上位を加えて参加資格はC又はD等級とした。（神戸大学）</p> <p>・より企業の施行能力等を評価する必要がある工事の場合は、実績評価型ではなく標準型・簡易型の方式を採用する。実績評価型は技術的工夫の余地が少ない工事を対象としており、本学の予算規模等も含めた総合的な判断により加算点を10点として設定している。運用していて問題がある場合は、随時加算点の見直しをおこなう。（兵庫教育大学）</p> <p>・全国立大学において統一基準である公共建築工事積算基準と文部科学省建築工事標準単価積算基準（特記基準）に則り積算している。（兵庫教育大学）</p>

事項	意見・質問	回答
<p>(2) 設計・コンサルティング業務の抽出事業にかかる審議について</p> <p>以下、神戸大学の審議事業</p> <p>① (六甲台2他) 工学部本館等外壁調査業務</p> <p>② (六甲台2) 基幹・環境整備(急傾斜地安全対策)Ⅲ期設計業務</p> <p>③ (鶴甲2) 総合研究棟(国際人間科学系)改修建築設計業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札価格調査の実施概要(別紙1)について「1. その価格により入札した理由」等が書かれているが抽象的すぎる。具体的な数字による金額比較が無い。実務としてどのように調査・把握しているのか。</li> <li>・業者によって入札金額に大きな差があるのはなぜか。</li> <li>・外壁調査業務を落札した場合、その後の外壁改修工事も落札者が施工するのか。</li> <li>・調査基準価格が予定価格の5割を下回るのはなぜか。</li> <li>・低入札など落札率が低い際、積算の適正性を確認するためにも予定価格との比較可能な詳細な資料を提示していただきたい。</li> <li>・簡易公募型プロポーザル(拡大)とはどのような方式か。</li> <li>・技術提案で1位の業者から6回見積を徴取しているのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務としては、担当者が予定価格・業者見積(落札金額)について比較調査しており、低入札価格調査となった理由は具体的に把握している。別紙1と別紙2については外部に公表している資料のため、具体的な金額については記載していない。次回から、別紙1・別紙2とは別に、具体的な金額等の入った判断根拠資料を提出する。(兵庫教育大学)</li> <li>・調査業務であることから、原材料費ではなく人件費や足場などの仮設費が大部分であることから、業者間の価格差が生じやすい。(神戸大学)</li> <li>・新たに改修工事の入札を行い落札者を決定したうえで施工することとなる。(神戸大学)</li> <li>・調査業務の積算はまず、人件費を算出してそれに対して間接経費や、付随する経費を算出するが、直接人件費に対して間接経費は2倍程度になるため、経費を大きく削減した積算をした場合であっても業務の履行が可能であるため調査基準価格を低く算出することとなる。(神戸大学)</li> <li>・次回からは低入札調査について比較表などの資料を用意するようにする。(神戸大学)</li> <li>・業者に技術提案書の提出を求めて、技術提案書を特定し、特定した業者から見積書を徴取する方式である。価格ではなく技術提案による競争である。(神戸大学)</li> <li>・原則として特定した業者が辞退しなければ、予定価格に達するまで見積の徴取を続けることができる。特定された1者からの見積徴取となるため、当初は高めの見積金額になっていると思われる。(神戸大学)</li> </ul>

事項	意見・質問	回答
<p>3. 運営内規第6条第3項(1)～(7)に基づく抽出事業にかかる審議について</p> <p>以下、神戸大学の審議事業</p> <p>①（六甲台2）本部管理棟他煙突閉鎖工事</p> <p>②（六甲台2）特高受変電設備制御装置等改修工事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定業者の技術提案は2位の業者と比較して点数差ほどの程度であったか。</li> <li>・ 予定価格はどのようにして積算するのか。</li> <li>・ 大学内でアスベストが使用されている箇所についての調査は済んでいるか。</li> <li>・ 判明したアスベストは全て撤去されているか。</li> <li>・ 専門業者でないと難しいか。</li> <li>・ 緊急随契ということだが、発見から契約手続き後の工事着工までの期間はどれくらいか。</li> <li>・ 他の煙突の調査は済んでいるか。</li> <li>・ 特定業者でなければ施工できない理由は何か。またこれ以外で特定業者しか施工できない設備等は多くあるか。</li> <li>・ 予定価格の積算はどのようにしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合計点数で6.4点の差があった。（神戸大学）</li> <li>・ 改修工事の場合は延べ面積、用途、必要な図面の枚数などを想定し、設計図作成の難易度を査定して計算するソフトによって設定する。（神戸大学）</li> <li>・ 飛散の恐れのあるアスベストについては済んでいる。（神戸大学）</li> <li>・ 撤去されている。（神戸大学）</li> <li>・ 飛散の恐れのあるアスベストの対応については専門業者に発注している。（神戸大学）</li> <li>・ 1週間から10日である。その間に調査、予定価格の積算、設計を行い、契約担当役に確認して発注している。（神戸大学）</li> <li>・ 済んでいる。（神戸大学）</li> <li>・ 特高受変電設備の制御装置等の製造メーカーが保守管理全てを特定業者に技術移管したため単独随契となった。これ以外の設備等で特定業者でなければ施工できないケースは稀である。（神戸大学）</li> <li>・ 神戸大学での受変電設備更新工事を施工した実績のある工事業者から見積を徴取し、唯一の保守管理業者の見積金額が妥当あるかを検討したうえで予定価格を積算した。（神戸大学）</li> </ul>

事項	意見・質問	回答
③（鶴甲1）北側法面階段増設工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加業者が1者であったのは他の業者が入札に参加しても落札者を下回る入札金額の提示ができないと判断してのことか。</li> <li>・競争参加資格は条件次第で参加障壁になることもあるため、一般競争による競争原則を働かせるためにも条件設定は慎重に検討すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加業者は他の業者の参加状況はわからない。本工事は神戸市の敷地内での施工であったため土砂災害警戒区域における工事実績を競争参加資格に挙げていたため競争参加業者が少なくなったと思われる。（神戸大学）</li> <li>・本工事は神戸市の敷地内での施工であったため極力適正に施工できる業者を選定するために競争参加資格の要件に土砂災害警戒区域における工事実績を求めたが、一般競争による競争原理を阻害しないように今まで以上に資格要件の設定を慎重に行うこととする。（神戸大学）</li> </ul>
④（淀川）合宿所等とりこわし工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とりこわして新たに建築するのか。</li> <li>・新しい建屋の建築はとりこわし業者が施工するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路が敷地に一部かかることになり、その部分については大阪市に売却するため、残った敷地内に新たに建てることとなる。（神戸大学）</li> <li>・新たに入札を行い落札者を決定したうえで施工することとなる。（神戸大学）</li> </ul>
以下、兵庫教育大学の審議事業		
⑤（嬉野台）基幹・環境整備（ガス設備）工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1者しか入札に参加しなかった理由は何か。競争参加資格を絞りすぎたのではないか。</li> <li>また、落札率が99.6%と高い理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、中央供給方式のLPガス配管の埋設メイン配管を施工する工事である。都市ガスとは違いLPガスでは一般的に各建物付近にボンベ庫を設置してガスを供給するため、埋設で長距離のメイン配管を施工することはあまりない。</li> <li>参加業者数が少なかった理由として、あまり一般的でない工事内容であったこと、また、工事の発注時期も一般的な時期であったこと、兵庫教育大学の所在地が、施工業者が多い神戸や大阪等の都市から距離がある等により、参加業者が少なかったのではないかと推測される。</li> <li>競争参加資格については、施工実績（過去15年）・施工内容共極力広く設定している。</li> <li>また、落札率が高かった理由については、先ほどの理由によりあまり業者が入札金額を下げてこなかったのではないかと推測される。（兵庫教育大学）</li> </ul>

事項	意見・質問	回答
<p>4. 運営内規第6条第3項(8)に基づく抽出事業にかかる審議について</p> <p>運営内規第6条第2項に基づく建設工事の抽出事業の③と重複しているため上記で審議された。</p> <p>5. 審議対象事業の抽出における委員間の協議について</p>	<p>・予定価格はどの様に積算しているのか。</p>	<p>公共建築工事積算基準に基づき、専門業者の見積を比較の上採用し、予定価格を適正に設定している。(兵庫教育大学)</p> <p>・次回から各委員より抽出された審議対象事業について、事務局にて抽出事業一覧表を作成の上、委員長に提出する。委員間でメール協議後最終決定をおこない、委員長より、最終決定事業の通知があることとする。</p>